

令和7年度保険者介護保険保険者努力支援交付金(市町村分)評価指標に係る取組の状況

目標Ⅰ 介護予防/日常生活支援を推進する(配点100点)  
(イ)体制・取組指標群(配点52点)

【資料3-2】

		指 標	時点	回答欄	得点	配点	記載事項・提出資料	市の対応状況	今後の予定など	担当
1	介護予防・生活支援サービス・一般介護予防事業の実施に当たって、データを活用して課題の把握を行っているか。 ※ウに該当する場合はア又はイのいずれかに、エに該当する場合はウに該当していることが望ましい	ア 介護予防のケアプランや要介護認定の調査票等を確認している	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	○	1点	1点	○ ア～ウについては、使用したデータ及び取組内容の概要を記載。 ○ ウについては、外部からの意見を聞いている場合にはその名称を記載。 ○ エについては、何の施策にどのような反映を行ったのか概要を記載。	ア サービスCの実施にあたり、該当者のケアプランの提出を求め、内容が利用者の自立支援の視点で作成されているか確認している。 イ KDBのデータを利用して一般介護予防事業(みんなチャレ事業)の利用者の状況を把握している。 ウ サービスC利用者の評価会議を実施して課題の把握、共有等を行っている。 エ 一般介護予防事業(みんなチャレ事業)の継続の根拠として活用している。	継続実施。	高齢者支援課介護予防生活支援担当
		イ KDBや見える化システム等既存のデータベースやシステムを活用している		○	1点	1点			KDBシステム及び見える化システムの活用により、要支援者数、認定率などの状況を把握し、各種調査の回答に役立てる。	
		ウ 毎年度、ア又はイのデータを活用して課題の分析・共有を行っている		○	2点	2点			継続実施。	
		エ データに基づく課題分析等の結果を施策の改善・見直し等に活用している		○	2点	2点			今後の事業展開を考える上で参考にしていく。	
2	通いの場やボランティア活動その他の介護予防に資する取組の推進を図るため、アウトリーチ等の取組を実施しているか。 ※ア→イ→ウ→エの順で該当していることが望ましい	ア 通いの場への参加促進を図るための課題を把握・分析している	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	○	1点	1点	○ アについては、課題把握・分析の概要を記載。 ○ イについては、取組内容(手法や規模、整理しているデータ内容等)を記載。 ○ ウについては、①～④ごとに、取組内容を記載。 ○ エについては、成果分析の結果、取組の改善・見直しの内容又はそれらを行うプロセスの概要を記載。	ア KDB活用マニュアルのワークシートに基づき、地域課題の把握・分析を実施している。 イ 「心と体の健康チェック」(基本チェックリスト)を75、77、79、81、83歳の方で要支援・要介護認定を受けていない方へ送付し、その返信内容をデータとして整理している。 ウ① イで返信がなかった方へ数か月後に往復はがきを送付し現状について簡易アンケートを実施。往復はがきの返信もなかった方へ家庭訪問し、アウトリーチを実施している。 ウ② 後期高齢者の健康診断の勧奨通知の中にフレイル予防のチラシを同封し配布し、医師会を通じて、検診時に気になる患者がいた際に地域包括支援センターへ連絡するよう呼びかけている。 ウ③ 介護予防推進センターで介護予防市民サポーター育成と活動支援を実施し、ボランティアへ参加に対するポイントの付与を実施している。 ウ④ ウ③のボランティアを対象として健康状態等に関するアンケートを定期実施し、結果を集計している。 エ 年度の前半の終了、年度の終了の1か月程前を目安に担当者で会議を開き、見直し・改善について検討する。その内容を課内で共有し、さらに関係機関へも定期的な会議にて周知をしている。計画が固まった段階で計画協議会にて報告する。	KDBシステムから地域課題の把握・分析した結果を関係機関(リハビリテーション専門職、地域包括支援センター、介護予防推進センター、社会福祉協議会)と共有している。返信内容からフレイルリスクのある方に介護予防事業を紹介し、事業につなげていく。	高齢者支援課介護予防生活支援担当
		イ 通いの場に参加していない者の健康状態や生活状況、医療や介護サービスの利用状況等を定量的に把握し、データとして整理・分析している		○	2点	2点			未把握者の訪問は年々、難しい状況が続いているが、地域包括支援センターの職員で時間を見つけて対応してくれている。	
		ウ ア及びイを踏まえ、通いの場を含む介護予防に資する取組に対して、次のような具体的なアプローチを行っている		○	1点	1点			継続実施。	
		① 通いの場に参加していない者の居宅等へのアウトリーチに関する取組		○	1点	1点			介護予防推進センターの教室や講座に参加された方等に、サポーターの啓発を行い、活動に参加してもらえよう実際のボランティアをしている方の声を届ける等の工夫をしている。	
		② 医療機関等が通いの場等への参加を促す仕組みの構築		○	1点	1点			継続実施。	
		③ 介護予防に資する取組やボランティアへの参加に対するポイント付与の実施		○	1点	1点			継続実施。	
④ ③のポイント事業参加者の健康状態等のデータベース化	○	1点	1点	継続実施。						
エ 毎年度、ウの取組の成果を分析し、取組の改善・見直し等を行っている	○	2点	2点	継続実施。						
3	介護予防等と保健事業を一体的に実施しているか。 ※イに該当する場合はアに、エに該当する場合はアからウまでのいずれかに該当していることが望ましい	ア 通いの場における健康チェックや栄養指導・口腔ケア等を実施している	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	○	1点	1点	○ ア、イ、ウについては、取組内容や仕組みの概要を記載。 ○ エについては、成果分析の結果、取組の改善・見直しの内容又はそれらを行うプロセスの概要を記載。	ア・イ 地域リハビリテーション事業の中で、通いの場において、リハビリ職が健康教育や健康相談等を実施。状態を把握し、対象者に応じた情報提供や生活機能向上の支援を行う。 ウ 国民健康保険の生活習慣病のリスクがある方への通知の中に介護予防事業のお知らせを合わせて送付している。 エ 一体的実施はR5よりスタートし、定期的に関係機関での会議を実施し、取組の改善・見直しを行う。	リハビリ職が対象者に応じた情報提供を行うことで生活の中で取り入れられることを学び、生活習慣の向上につながっている。今後も継続予定。	高齢者支援課介護予防生活支援担当
		イ 通いの場での健康チェック等の結果を踏まえて医療機関等による早期介入(個別支援)につなげる仕組みを構築している		○	2点	2点			リハビリ職が対象者に応じた情報提供を行うことで生活の中で取り入れられることを学び、生活習慣の向上につながっている。今後も継続予定。	
		ウ 現役世代の生活習慣病対策と、介護予防とが連携した取組を実施している		○	2点	2点			継続実施。	
		エ 毎年度、一体的実施の成果を分析し、取組の改善・見直し等を行っている		○	2点	2点			継続実施。	
4	通いの場の参加者の健康状態等の把握・分析により、介護予防・生活支援サービス・一般介護予防事業の内容等の検討を行っているか。 ※ア→イ→オの順で該当していることが望ましい	ア 通いの場の参加者の健康状態等を継続的・定量的に把握する体制が整っている	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	○	1点	1点	○ アについては、体制の概要を記載。 ○ イについては、取組内容(手法や規模、整理しているデータ内容等)を記載。 ○ ウについては、外部関係者の名称を記載。 ○ エについては、参加者の意見の概要を記載。 ○ オについては、活用状況を記載。	ア 通いの場(地域交流ひろば)に通っている方を対象に基本チェックリストを実施している。 イ アおよびアンケートをもとに状況の分析を実施している。 ウ 一般介護予防事業の検討をする会議(事業検討会)にリハ職がオブザーバーとして参加している。 エ 個別ケースから地域課題を把握し、全体の事業の構築につなげる。 オ 通いの場の参加者の状況や参加者の声もふまえて、一般介護予防事業の見直しを定期的に行っている。	継続実施。	高齢者支援課介護予防生活支援担当
		イ 毎年度、経年的な評価や分析等を行っている		○	2点	2点			継続実施。	
		ウ 行政以外の外部の関係者の意見を取り入れている		○	1点	1点			継続実施。	
		エ 通いの場の参加者の意見を取り入れている		○	1点	1点			個別ケースから見える「自立の要因」や地域課題を把握していける仕組みを構築していきたい。	
		オ 分析結果等をサービス内容の充実等に活用している		○	2点	2点			継続実施。	
5	地域におけるリハビリテーションの推進に向けた具体的な取組を行っているか。 ※ウに該当する場合はイに該当していることが望ましい	ア 国が示すリハビリテーションサービス提供体制に関する指標を現状把握や施策の検討に活用し、リハビリテーションに関する目標を市町村介護保険事業計画に設定している	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	○	1点	1点	○ アについては、国が示すリハビリテーションサービス提供体制に関する指標の活用方法を記載するとともに、介護保険事業計画における該当部分を添付。 ○ イについては、仕組みの概要を記載。 ○ ウについては、協議の場の活用状況を記載。 ○ エについては、成果分析の結果、取組の改善・見直しの内容又はそれらを行うプロセスの概要を記載。	ア 短期集中予防サービスのリハ職の面談において、ICFの視点で本人の活動や生活を親でしてもらうことを基本としている。また、アウトカム指標の「主観的幸福感、健康観」を盛り込んだものが取れるような調査を事業の実施前後で取る仕組みとした。 イ・ウ 地域リハビリテーション事業検討会議を隔月で開催している。その中で具体的な事業展開について検討している。会議メンバーに府中市リハビリテーション協会の委員のリハ職などに参加していただいている。 エ イ、ウの会議体を活用し、取組内容の振り返り、課題を分析し、次年度の活動に生かす取組を行っている。取組内容の改善・見直しの内容について、計画協議会で報告し、会議録および資料がHPに公開される。	継続実施。	高齢者支援課介護予防生活支援担当
		イ 郡市区医師会等の関係団体と連携して協議の場を設置し、介護予防の場や介護事業所にリハビリテーション専門職等が関与する仕組みを設けている		○	2点	2点			一般介護予防事業のフレイル予防講習会(全4回実施)の2回目にリハ職が関わり、個別の面談ができる仕組みを設けている。生活の中で取り入れやすい、ちょっとした工夫を紹介するなど生活習慣を見直すきっかけ作りとしている。	
		ウ リハビリテーション専門職を含む医療専門職を介護予防の場や地域ケア会議等に安定的に派遣するための具体的な内容を議論するなど、イの協議の場を活用している		○	2点	2点			継続実施。	
		エ 毎年度、取組内容の成果を分析し、改善・見直し等を行い、公表している		○	2点	2点			継続実施。	

指 標		時点	回答欄	得点	配点	記載事項・提出資料	市の対応状況	今後の予定など	担当
6	生活支援コーディネーターの活動等により、地域のニーズを踏まえた介護予防・生活支援の体制が確保されているか。	ア 地域における介護予防・生活支援サービス等の提供状況、地域資源、利用者数の推移、心身及び生活状況の傾向、高齢者の地域の担い手としての参画状況等を把握し、データとして整理している	○	1点	1点	○ アについては、整理しているデータ内容を記載。 ○ イについては、説明した相手方、説明の内容、説明日時を記載。 ○ ウについては、地域課題の分析・評価結果の概要を記載。 ○ エについては、推進方策の概要を記載。 ○ オについては、改善・見直し又はそれらを行うプロセスの概要を記載。	ア 生活支援コーディネーター事業報告の中で地域資源や協議体等の住民の参加状況を記載し整理している。 イ 整理したデータをもとに、わがまちタウンミーティング(8/27、2月ごろ、市民向け)で市内全体の取組状況を共有している。また、高齢者保健福祉計画・介護保健事業計画協議会で市内の状況について報告している。(協議会委員向け、12月) ウ 第2層協議体で把握した地域課題を整理、分析している。 エ 10月ごろに地域課題について、地域ケア会議からも見えてきたものと一緒に整理し、市全体としての課題について検討する。 オ 高齢者保健福祉計画・介護保健事業計画協議会の中で生活支援体制整備事業について取り上げ、方針の見直しおよび周知を行っている。	地域課題検討会(年2~3回)を開催し、生活支援コーディネーターと地域包括支援センターで集まり、地域課題について整理している。令和8年3月の計画協議会で第10期計画に向けた報告(提言)を行う予定。	高齢者支援課介護予防生活支援担当
	※ア・イ・ウ・エ・オの順で該当していることが望ましい	イ アで整理したデータを、地域住民や関係団体等に提供・説明している	○	2点	2点				
		ウ アで整理したデータを踏まえ、生活支援コーディネーターとともに、協議体を活用しながら、地域の課題を分析・評価している	○	2点	2点				
		エ ウの分析・評価を踏まえ、市町村として、介護予防・生活支援サービスの推進方策を策定し、関係者に周知している	○	2点	2点				
		オ エで策定した市町村としての推進方策を定期的に見直し、関係者に周知する仕組みがある	○	2点	2点				

7	多様なサービスの活用の推進に向け、実施状況の調査・分析・評価を行っているか。	ア 介護予防・日常生活支援総合事業のサービスの実施状況、地域資源、利用者数の推移、心身及び生活状況の傾向のほか、現状では対応が困難な地域の困り事等を把握し、データとして整理している	○	1点	1点	○ アについては、整理しているデータ内容を記載。 ○ イについては、意見を取り入れる仕組みの概要を記載。 ○ ウについては、地域課題の分析・評価結果の概要を記載。 ○ エについては、推進方策の概要を記載。 ○ オについては、対象者モデルの内容や取組を評価する仕組みの概要を記載。 ○ カについては、改善・見直し又はそれらを行うプロセスの概要を記載。	ア サービスA・C等の実施状況(提供事業所数、利用者数等)、地域資源としての通いの場の数等 イ 一般介護予防事業の利用者を対象にアンケートを実施し、その結果を踏まえて事業の検討を行っている。	地域資源としての通いの場の数等のデータを整理し、アンケートにより集めた利用者等の意見を取り入れていく体制を継続する。これらのデータや意見を踏まえ、地域課題を分析・評価し、関係機関に共有するよう努めていく。	高齢者支援課介護予防生活支援担当
	※ア・イ・ウ・エ・オ・カの順で該当していることが望ましい	イ 介護予防・日常生活支援総合事業の利用者等の意見を取り入れる仕組みを整えている	○	1点	1点				
		ウ アで整理したデータ又はイの意見を踏まえ、多様なサービスの推進に向け、地域の課題を分析・評価・共有している	×	0点	1点				
		エ ウの分析・評価を踏まえ、多様なサービスの推進に向け、市町村としての推進方策を策定し、関係者に周知している	×	0点	1点				
		オ エの推進方策の策定にあたり、多様なサービスの対象者モデルの提示や、第一号介護予防支援事業における目標指向型のケアマネジメントの取組を評価する仕組みを整えている	×	0点	1点				
	カ ア~オのプロセスを踏まえ、エで策定した市町村としての推進方策を定期的に改善・見直し等を行う仕組みがある	×	0点	2点					

(ii)活動指標群(配点48点)										
1	高齢者人口当たりの地域包括支援センターに配置される3職種の数	ア 上位7割	2023年度実績を評価	/	1点	1点	/	/	/	/
		イ 上位5割			1点	1点				
		ウ 上位3割			0点	1点				
		エ 上位1割			0点	1点				

2	地域包括支援センター事業評価の達成状況	ア 家族介護者支援を含む総合相談支援・権利擁護業務	2023年度実績を評価	/	① 上位7割	1点	1点	/	/	/
					② 上位5割	0点	1点			
					③ 上位3割	0点	1点			
					④ 上位1割	0点	1点			
	イ 介護予防の推進・包括的・継続的ケアマネジメント支援業務・事業間連携に関する業務	① 上位7割	1点	1点	/	/	/			
		② 上位5割	1点	1点						
		③ 上位3割	0点	1点						
		④ 上位1割	0点	1点						
	ウ 地域ケア会議に関する業務	① 上位7割	0点	1点	/	/	/			
		② 上位5割	0点	1点						
		③ 上位3割	0点	1点						
		④ 上位1割	0点	1点						

3	地域ケア会議における個別事例の検討割合(個別事例の検討件数/受給者数)	ア 上位7割	2023年度実績を評価	/	1点	1点	○ 右欄に2023年度における地域ケア会議において検討された個別事例の延べ件数を記載。	個別事例の述べ件数を記載。※単位の記載は不要	90	自立支援ケア会議及び担当地区ケア会議について、次年度以降も継続実施予定。	高齢者支援課介護予防生活支援担当 高齢者支援課相談担当
		イ 上位5割			0点	1点					
		ウ 上位3割			0点	1点					
		エ 上位1割			0点	1点					

4	通いの場への65歳以上高齢者の参加率	ア 週一回以上の通いの場への参加率	2023年度実績を評価	/	① 上位7割	1点	1点	/	/	/
					② 上位5割	1点	1点			
					③ 上位3割	0点	1点			
					④ 上位1割	0点	1点			
	イ 週一回以上の通いの場への参加率の変化率	① 上位7割	1点	1点	/	/	/			
		② 上位5割	1点	1点						
		③ 上位3割	1点	1点						
		④ 上位1割	0点	1点						

指 標		時点	回答欄	得点	配点	記載事項・提出資料	市の対応状況	今後の予定など	担当	
5	高齢者のポイント事業への参加率	ア 上位7割	2023年度実績を評価	/	1点	1点	○ 右欄に2023年度におけるポイント事業参加者数(実人数)を記載。 ○ 「支援交付金 I (ii)6計算用」シートの「通いの場等において心身・認知機能を維持・改善した者の割合算定表」に記載。 ○ 通いの場又はボランティアポイント事業以外のその他の取組がある場合は、上記算定表に取組の概要を記載の上、当該取組に係る参考資料を添付すること。	ポイント事業参加者数(実人数)を記載。※単位の記載は不要  114	介護予防推進センターにおける「元気一番!!ひろめ隊」の活動に応じて、ポイントを付与している。	高齢者支援課介護予防生活支援担当
		イ 上位5割			0点	1点				
		ウ 上位3割			0点	1点				
		エ 上位1割			0点	1点				
6	通いの場等において心身・認知機能を維持・改善した者の割合 ※「努力支援交付金 I (ii)6計算用」シートを使用して計算	ア 上位7割	2023年度実績を評価	/	1点	1点	○ 「支援交付金 I (ii)6計算用」シートの「通いの場等において心身・認知機能を維持・改善した者の割合算定表」に記載。 ○ 通いの場又はボランティアポイント事業以外のその他の取組がある場合は、上記算定表に取組の概要を記載の上、当該取組に係る参考資料を添付すること。	「努力支援交付金 I (ii)6計算用」シートから自動転記。※単位の記載は不要  25.7%	参加者の機能の維持・改善につながるよう継続して取り組んでいく。	高齢者支援課介護予防生活支援担当
		イ 上位5割			0点	1点				
		ウ 上位3割			0点	1点				
		エ 上位1割			0点	1点				
7	高齢者人口当たりの生活支援コーディネーター数	ア 上位7割	2023年度実績を評価	/	1点	1点	○ 右欄に2024年3月31日現在(当該日における配置人数の把握が困難な場合は、当該市町村において定める2023年度中の任意の日で可。)で第1層、第2層等に専従で配置されている生活支援コーディネーター数(実人数)を記載。	生活支援コーディネーター数(実人数)を記載。※単位の記載は不要  12	令和6年(2024年)4月から23名(第1層1名、第2層22名)体制となった。生活支援コーディネーター連絡会の開催、それぞれのコーディネーターとの連携を密にすることで、さらなる体制の充実に努めていく。	高齢者支援課介護予防生活支援担当
		イ 上位5割			0点	1点				
		ウ 上位3割			0点	1点				
		エ 上位1割			0点	1点				
8	生活支援コーディネーターの地域ケア会議への参加割合	ア 上位7割	2023年度実績を評価	/	1点	1点	/	/	/	/
		イ 上位5割			0点	1点				
		ウ 上位3割			0点	1点				
		エ 上位1割			0点	1点				
9	総合事業における多様なサービスの実施状況	ア 第一号訪問事業及び第一号通所事業実施事業所・団体数に占める多様なサービス実施事業所・団体数の割合	2023年度実績を評価	/	① 上位7割	1点	○ ア及びイについては、既存統計では把握できない、生活支援体制整備事業を活用して実施しているインフォーマルサービス(住民主体の支え合い活動を含む。)に係る実施事業所・団体数又は実利用者数を把握している場合には、これを右欄に記載。(把握していない場合は記載不要。) ○ これに該当する場合、各事業所・団体が実施しているインフォーマルサービスの概要がわかる資料を添付すること。なお、右欄に記載した数値は、既存統計に加え、これも勘案して評価を行う。 ○ エについては、人口1万人未満の小規模自治体のみが対象。 ○ これに該当すると考える場合、取組内容を記載するとともに、関連資料を添付すること。	事業所・団体数を記載。※単位の記載は不要、把握していない場合は記載不要  49	引き続き高齢者のニーズを把握し、必要な多様なサービス(サービスA～D)が整備されるように努めていく。	高齢者支援課介護予防生活支援担当
					② 上位5割	1点				
					③ 上位3割	1点				
					④ 上位1割	0点				
		イ 第一号訪問事業及び第一号通所事業の実利用者数に占める多様なサービスに係る実利用者数の割合	/	① 上位7割	0点	1点				
				② 上位5割	0点	1点				
				③ 上位3割	0点	1点				
				④ 上位1割	0点	1点				
		ウ 第一号訪問事業及び第一号通所事業の事業費に占める多様なサービスに係る事業費の割合	/	① 上位7割	0点	1点				
				② 上位5割	0点	1点				
				③ 上位3割	0点	1点				
				④ 上位1割	0点	1点				
		エ 人口1万人未満の市町村であって、生活支援体制整備事業を活用し、インフォーマルサービス(住民主体の支え合い活動を含む。)を実施している場合	2023年度実績を評価	×	0点	1点				
配点合計 100点		府中市	65点							
		全国平均	55.3点							
		東京都平均	53.0点							
		26市平均	58.7点							

目標Ⅱ 認知症総合支援を推進する(配点100点)

( i ) 体制・取組指標群 (配点64点)									
	指 標	時点	回答欄	得点	配点	記載事項・提出資料	市の対応状況	今後の予定など	担当
1	認知症サポーター等を活用した地域支援体制の構築及び社会参加支援を行っているか。	ア 認知症の人の声を聞く機会(本人ミーティング、活動場所への訪問など)を設けている	×	0点	5点	○ アについては、取組内容の概要を記載。 ○ イについては、要綱等の概要を記載。 ○ ウについては、活動グループによる活動内容の概要を記載。 ○ エについては、マッチングの概要(実施頻度、手法等)を記載。 ○ オについては、認知症の人の当事者参画の取組内容の概要を記載。	ア:活動場所への訪問の機会は現時点では少ないが、R7年度は府中市認知症施策推進計画策定部会を設置し、当部会において、本人やご家族からの意見を聴取した。今後の計画策定にあたり、いただいたご意見を反映をさせて頂く予定。 ウ:チームオレンジは未設置であるが、令和8年度中の設置を目標に、今年の12月までに地域包括支援センターにチームオレンジとなりえる取組について提示いただくよう依頼をしている。 エ:今後実施予定。 オ:未実施	活動場所への訪問の機会は現時点では少ないが、令和7年度は府中市認知症施策推進計画策定部会を設置し、当部会において、本人やご家族からの意見を聴取した。今後の計画策定に当たり、集約した意見を計画に反映をさせて頂く予定。 府中市成年後見制度に係る報酬費用助成要綱を整備済み。 チームオレンジは未設置であるが、令和8年度中の設置を目標に、地域包括支援センターに対し、令和7年12月までにチームオレンジとなり得る取組について提示いただくよう依頼している。今後は各センターの進捗状況を踏まえ、可能な取組から進めていく予定。 今後実施予定。	高齢者支援課在宅療養推進担当アウエオ 地域福祉推進課社会福祉係イ
		イ 成年後見制度利用支援事業に関し、対象を市町村長申立や生活保護受給者に限定しない要綱等を整備している	×	0点	5点				
		ウ 認知症サポーター等による支援チーム等の活動グループ(チームオレンジなど)を設置している	×	0点	5点				
		エ 認知症の人やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援につながるよう、ウによる活動グループを含む地域の担い手とのマッチングを行っている	×	0点	5点				
		オ 認知症の人が希望に応じて農業、商品の製造・販売、食堂の運営、地域活動やマルシェの開催等に参画できるように、支援している	×	0点	5点				
2	認知症のある人に対して、専門医療機関との連携により、早期診断・早期対応に繋げるための体制を構築しているか。  ※エに該当する場合はアからウまでのいずれかに該当していることが望ましい	ア 認知症に関わる医療機関や認知症初期集中支援チームの周知を行っている	○	4点	4点	○ アについては、周知内容の概要を記載。 ○ イについては、連携した取組の概要を簡潔に記載。 ○ ウについては、連携ルールの概要を記載。 ○ エについては、医療・介護専門職による早期対応や早期診断の取組の概要を記載。	ア:介護保険サービスを含む高齢者福祉全般についてまとめられた冊子(毎年発行)、認知症あんしんガイド(認知症ケアパス)に掲載して市内各所で配布して周知。ホームページにも掲載。府中市医療・介護・地域資源情報検索サイト「ふちゅナビ」で市民や関係機関が最新の情報検索ができる。 イ:認知症疾患医療センター・地域包括支援センター・市が参加して認知症家族介護者教室を各月開催。講師には地区医師会の認知症サポート医に依頼して開催。 ウ:市独自で作成した「もの忘れ相談シート2～6」を利用して連携をする。包括や居宅など在宅の支援機関がシート2を記載して本人が受診する医療機関へ渡す。受け取った医療機関が受診後の結果を含めてシート3に記載して相談機関へ送る。専門医療機関が必要な場合はシート4を記載してつなげる。専門医療機関につながった後、かかりつけ医と専門医療機関との連携のためシート5・6を適宜使用する。 エ:認知症支援研修会等で学んだ医療介護職が早期に認知症サポート医へ利用者の方をつなげる事例がある。実際に医療機関への受診に躊躇われていた方を認知症家族介護者教室に誘い、講話をしていた地域の認知症サポート医への受診につながった方も多い。	継続実施。  継続実施。奇数月に実施しており、地域包括支援センターに委託している。認知症家族介護者を対象とした講座のテーマを設定し、講師に依頼して開催している(医師・社会福祉士・ケアマネジャー等)。9月の認知症家族介護者教室(オレンジサロン)は、成年後見制度をテーマに社会福祉士を講師として実施した。  継続実施。  継続実施。	高齢者支援課在宅療養推進担当
		イ 認知症に関わる医療機関と連携した取組を行っている	○	5点	5点				
		ウ 情報連携ツール等を活用して、関係者間で連携ルールを策定している	○	5点	5点				
		エ アからウまでを踏まえ、医療・介護専門職による早期対応や早期診断に繋げる体制づくりを構築した上で、運用している	○	5点	5点				
3	難聴高齢者の早期発見・早期介入に係る取組を行っているか。  ※ア→イ→ウ→エの順で該当していることが望ましい	ア 普及啓発の取組を行っているか	○	5点	5点	○ ア及びイについては、取組内容の概要を記載。 ○ ウについては、把握している受診状況及び未受診者への再度の受診勧奨の実施状況について概要を記載。 ○ エについては、受診勧奨者のうち受診した者の割合を記載。	日本補聴器販売店協会発行の、①はじめての補聴器入門編、②はじめての補聴器実践編を配布	継続実施。市役所おもや及び文化センターの窓口に配架。	高齢者支援課在宅療養推進担当
		イ 早期発見の取組を行っているか	×	0点	5点				
		ウ 受診状況の把握と未受診者への再度の受診勧奨を行っているか	×	0点	5点				
		エ 受診勧奨者のうち50%以上の者が受診しているか	×	0点	5点				

( ii ) 活動指標群 (配点36点)

1	高齢者人口当たりの認知症サポーター数	ア 上位7割	2023年度実績を評価	/	3点	3点				
		イ 上位5割			3点	3点				
		ウ 上位3割			3点	3点				
		エ 上位1割			0点	3点				
2	高齢者人口当たりの認知症サポーターステップアップ講座修了者数	ア 上位7割	2023年度実績を評価	/	3点	3点				
		イ 上位5割			0点	3点				
		ウ 上位3割			0点	3点				
		エ 上位1割			0点	3点				
3	認知症地域支援推進員が行っている業務の状況	ア 上位7割	2023年度実績を評価	/	3点	3点				
		イ 上位5割			3点	3点				
		ウ 上位3割			3点	3点				
		エ 上位1割			0点	3点				
配点合計 100点					府中市	45点				
					全国平均	46.5点				
					東京都平均	49.9点				
					26市平均	53.9点				

目標Ⅲ 在宅医療・在宅介護連携の体制を構築する(配点100点)

(i)体制・取組指標群(配点68点)		指 標	時点	回答欄	得点	配点	記載事項・提出資料	市の対応状況	今後の予定など	担当
1	地域の医療・介護関係者等が参画する会議において、市町村が所持するデータ等に基づき、在宅医療・介護連携に関する課題を検討し、対応策が具体化されているか。 ※エに該当する場合、ア及びウに該当していることが望ましい	ア 今後のニーズを踏まえ、①日常の療養支援、②入退院支援、③急変時の対応、④看取りの4つの場面ごとに、在宅医療と介護の提供体制の目指すべき姿を設定している	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	○	5点	5点	○ ア及びイについては、第9期計画における在宅医療・介護連携に該当する部分等関係文書を添付。 ○ ウについては、把握している情報の概要を記載。 ○ エについては、目標の設定、具体化された対応策の概要を記載。 ○ オについては、検証や見直しを行う仕組みの概要を記載。	ア 第9期計画には掲載していないが、在宅医療介護連携会議において、4つの場面ごとの目指すべき姿を検討予定。令和7年3月を目途に会議での意見をとりまとめ、在宅医療介護連携推進実施報告書に記載する。 イ 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第9期)P47 ウ 関係機関へ地域資源調査を実施・市民へ府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業(第9期)策定のための調査にて在宅医療に関するアンケートを実施 エ 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第9期)P86～88のとおり オ 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会に事業の進捗を報告し、専門機関等の意見を確認するとともに、府中市在宅医療・連携会議、連携推進部会での協議、見直しを実施	令和7年3月の在宅医療介護連携会議において、目指すべき姿に関する意見を聴取した。	高齢者支援課在宅療養推進担当
		イ 在宅医療と介護の提供体制の目指すべき姿を介護保険事業計画に記載している	○	6点	6点	継続実施。				
		ウ 地域の人口推計を踏まえ今後のニーズや医療・介護資源、社会資源や利用者の情報、住民の意向等を定量的な情報も含めて把握している	○	5点	5点	令和7年度に、第10期計画の策定に向け、アンケート調査を実施。今後も3年ごとに実施予定。地域資源調査については継続実施予定。				
		エ アとウの差の確認等により抽出された課題を踏まえ、地域の特性を踏まえた目標の設定、具体的な対応策を立案している	○	5点	5点	継続実施。				
		オ 評価指標等に基づき事業の検証や必要に応じた見直しを行う仕組みを設けている	○	5点	5点	府中市在宅医療・連携会議の各部会において継続実施。				

2	在宅医療と介護の連携の強化・推進に向け、相談支援、研修会の開催といった具体的な取組を行っているか。 ※ア→イ→ウ→エの順で該当していることが望ましい。	ア 在宅医療と介護の連携の強化・推進に向け、医療・介護関係者のニーズを把握している	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	○	5点	5点	○ アについては、把握しているニーズの概要を記載。 ○ イについては、①～③ごとに取組の概要を記載。 ○ ウについては、把握している情報の概要を記載。 ○ エについては、改善・見直し又はそれらを行うプロセスの概要を記載。	ア 多職種研修会参加者へ、ニーズ調査を実施。認知症支援・看取り支援・精神疾患の方への支援・身寄りのない方への支援、入退院支援・MCSIについてなどのニーズがある。 イ① 地域包括支援センターに相談窓口を設置し、医療・介護関係者からの相談にも対応している。 イ② 連絡会などで上がった意見を、在宅医療・介護連携会議や部会で共有 イ③ 多職種研修会の開催 ウ 医療と介護で共有認識、身寄りのない方の支援、連携のためのツール(ふちゆナビ)の活用等が不十分→個別ケースや研修会議医を通して共有の認識を増やす。備えることの普及啓発(若い世代も含めて)、場面ごとでの連携方法の検討、身元保証がなくても受診ができる場所を速やかに探せる検討等 エ 在宅医療・介護連携会議 連携推進部会で検討	計画策定にあたってのアンケート、各種会議(在宅医療介護連携会議、在宅療養担当者連絡会、各団体の連絡会等)、多職種研修会でニーズの把握に努めていく。	高齢者支援課在宅療養推進担当				
									イ 医療・介護関係者のニーズを踏まえ、次のような取組を実施している。		○	2点	2点	継続実施。
											○	2点	2点	継続実施。
		○									2点	2点	高齢者支援課主催の多職種研修会のほか、各部署関係機関主催での多職種研修の機会が複数ある。その他病院、訪問診療、訪問看護との連絡会も開催。	
		ウ 取組の実施状況を踏まえ、課題分析等を行っている							○		5点	5点	継続実施。	
エ 毎年度、課題分析や医療・介護関係者の双方の意見等を踏まえ、必要に応じて取組の改善・見直し等を行っている	○	5点	5点	府中市在宅医療・連携会議の各部会において継続実施。										

3	患者・利用者の状態の変化等に応じて、医療・介護関係者間で速やかな情報共有が実施できるよう、具体的な取組を行っているか。 ※ア→イ→ウ→エの順で該当していることが望ましい。	ア 医療・介護関係者の情報共有の実施状況を把握している	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	○	5点	5点	○ アについては、情報共有の実施状況の概要を記載。 ○ イについては、取組内容(情報連携を行う手段、その実施頻度)の概要を記載。 ○ ウについては、課題分析の結果の概要を記載。 ○ エについては、改善・見直し又はそれらを行うプロセスの概要を記載。	ア 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業(第9期)策定のためアンケートにて情報共有の実施状況を調査 イ 入院時情報提供書、府中市内病院相談窓口一覧を作成し、円滑に連携できるように取り組んでいる。 ウ 在宅医療介護連携会議等で定期的な見直しを実施予定 エ 在宅医療・介護連携会議 入退院支援部会で見直しを検討	在宅療養担当者連絡会で事例検討を行うほか、在宅医療・介護連携会議の各部会での意見聴取を行う。	高齢者支援課在宅療養推進担当			
		イ 実施状況等を踏まえ、在宅での看取りや入退院時等に活用できるような医療・介護関係者の情報共有ツールの作成等情報共有円滑化のための取組を実施している							○		6点	6点	継続実施。
		ウ 取組の実施状況を踏まえ、課題分析等を行っている							○		5点	5点	引き続き、在宅医療介護連携会議での意見等を踏まえ課題の分析を行う。
		エ 毎年度、課題分析や医療・介護関係者の双方の意見等を踏まえ、必要に応じて情報共有ツール等の改善・見直し等を行っている							○		5点	5点	府中市在宅医療・連携会議の各部会において継続実施。

(ii)活動指標群(配点32点)

1	入退院支援の実施状況	ア 入院時情報連携加算算定者数割合(要介護認定者数における割合)	2023年度実績を評価	○	0点	2点	○	0点	2点	○	0点	2点	○	0点	2点	○	0点	2点	○	0点	2点	
																						① 上位7割
																						② 上位5割
																						③ 上位3割
		イ 退院・退所加算算定者数割合(要介護認定者数における割合)																				① 上位7割
																						② 上位5割
																						③ 上位3割
																						④ 上位1割

  

2	人生の最終段階における支援の実施状況	ア 在宅ターミナルケアを受けた患者数割合(管内死亡者数における割合)	2022年度実績を評価	○	2点	2点	○	2点	2点	○	2点	2点	○	2点	2点	○	2点	2点	○	2点	2点	
																						① 上位7割
																						② 上位5割
																						③ 上位3割
		イ 看取り加算算定者数割合(管内死亡者数における割合)																				① 上位7割
																						② 上位5割
																						③ 上位3割
																						④ 上位1割

  

配点合計 100点		府中市	86点
		全国平均	66.1点
		東京都平均	67.2点
		26市平均	74.9点

目標Ⅳ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む(配点100点)

成果指標群

	指 標	時点	回答欄	得点	配点	記載事項・提出資料	市の対応状況	今後の予定など	担当
1	軽度【要介護1・2】 (平均要介護度の変化Ⅰ) 短期的な平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。	ア 変化率の状況	① 全保険者の上位7割	(ア)2023年1月→2024年1月の変化率	0点	5点			
			② 全保険者の上位5割	0点	5点				
			③ 全保険者の上位3割	(イ)2023年1月→2024年1月と、2022年1月→2023年1月の変化率の差	0点	5点			
			④ 全保険者の上位1割	0点	5点				
	イ 変化率の差	① 全保険者の上位7割	5点	5点					
		② 全保険者の上位5割	0点	5点					
		③ 全保険者の上位3割	0点	5点					
		④ 全保険者の上位1割	0点	5点					

2	軽度【要介護1・2】 (平均要介護度の変化Ⅱ) 長期的な平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。	ア 全保険者の上位7割	2020年1月→2024年1月の変化率	5点	5点			
		イ 全保険者の上位5割		5点	5点			
		ウ 全保険者の上位3割		0点	5点			
		エ 全保険者の上位1割		0点	5点			

3	中重度【要介護3～5】 (平均要介護度の変化Ⅰ) 短期的な平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。	ア 変化率の状況	① 全保険者の上位7割	(ア)2023年1月→2024年1月の変化率	5点	5点			
			② 全保険者の上位5割	5点	5点				
			③ 全保険者の上位3割	(イ)2023年1月→2024年1月と、2022年1月→2023年1月の変化率の差	0点	5点			
			④ 全保険者の上位1割	0点	5点				
	イ 変化率の差	① 全保険者の上位7割	0点	5点					
		② 全保険者の上位5割	0点	5点					
		③ 全保険者の上位3割	0点	5点					
		④ 全保険者の上位1割	0点	5点					

4	中重度【要介護3～5】 (平均要介護度の変化Ⅱ) 長期的な平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。	ア 全保険者の上位7割	2020年1月→2024年1月の変化率	5点	5点			
		イ 全保険者の上位5割		5点	5点			
		ウ 全保険者の上位3割		5点	5点			
		エ 全保険者の上位1割		5点	5点			

5	健康寿命延伸の実現状況 要介護2以上の認定率、認定率の変化率の状況はどのようになっているか。	ア 認定率	① 全保険者の上位7割	(ア)2024年1月の認定率	5点	5点			
			② 全保険者の上位5割	0点	5点				
			③ 全保険者の上位3割	(イ)2023年1月と2024年1月の変化率	0点	5点			
			④ 全保険者の上位1割	0点	5点				
	イ 認定率の変化率	① 全保険者の上位7割	0点	5点					
		② 全保険者の上位5割	0点	5点					
		③ 全保険者の上位3割	0点	5点					
		④ 全保険者の上位1割	0点	5点					

配点合計 100点	府中市	50点	
	全国平均	47.8点	
	東京都平均	42.8点	
	26市平均	44.4点	

配点合計 400点	府中市	246点	府中市順位
	全国平均	215.7点	462/1741
	東京都平均	212.9点	17/62
	26市平均	231.8点	9/26

両交付金合計	府中市	494点	府中市順位
配点合計 800点	全国平均	435.0点	519/1741
	東京都平均	443.8点	23/62
	26市平均	478.1点	14/26

※本資料における得点合計などの数値については、端数処理を行っているため、合計と内訳が一致しない場合があります